

健康ぷらざ

No.416

企画:日本医師会

水虫は防げるの？

水虫の正体は白癬菌はくせんきんという、カビの一種です。

カビは湿気を好むので、夏は繁殖しやすい季節です。

菌に感染すると、足趾そくし(足の指)の間や足の裏などが荒れて

かゆくなったり、皮がむけたりします。

それが水虫かどうか、病院では、顕微鏡で確認します。

水虫を防ぐためには、足がムレないように気をつけます。

足のサイズに合った靴をはき、

同じ靴を毎日はいかないようにしましょう。

一日一回は、足の様子を観察します。

足を洗すぎると、皮膚が傷つき菌に感染しやすくなるので、

カビをふき取るつもりで、優しく洗ってください。

足の爪が濁って厚くなっていたら、

水虫が進行した、爪水虫の可能性がります。

糖尿病や閉塞性動脈硬化症へいそくせいどうみやくこうかじょうの人がこれにかかると、

別の感染をおこしやすくなります。

フットケアは大切です。

水虫かなと思ったら、かかりつけの皮膚科医に相談し、
診断を受けましょう。

